

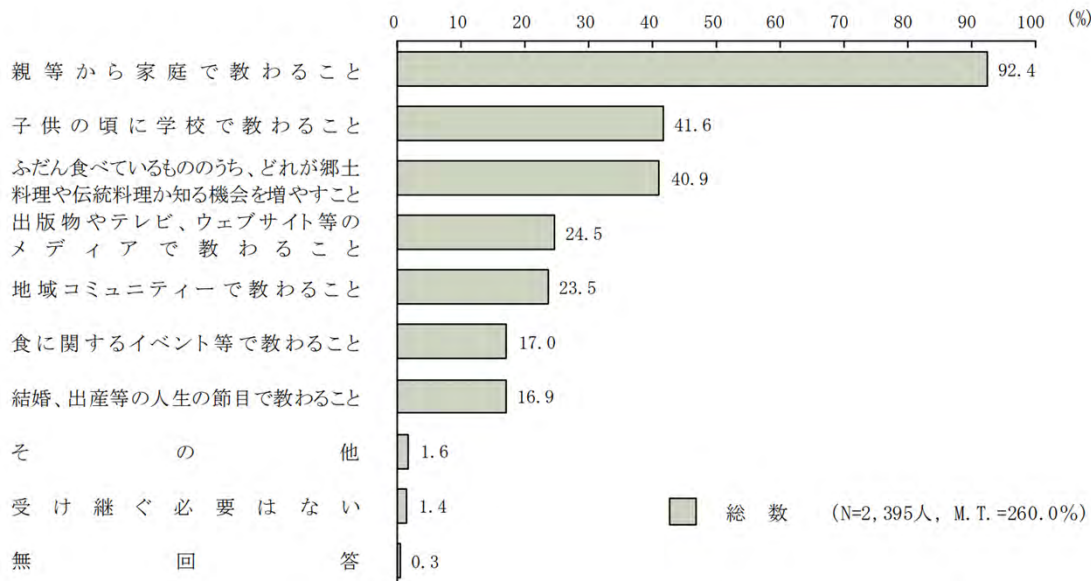
【4. 食文化に関する国民の価値観】

日本の食文化の保護について、食文化を受け継ぐために必要なこととしては、「親等から家庭で教わること」が92.4%と最も高く、続いて「子供の頃に学校で教わること」、「ふだん食べているもののうち、どれが郷土料理や伝統料理か知る機会を増やすこと」という結果となっている（図43）。

一方、今後1年間食育として実践したいこととしては、「栄養バランスのとれた食生活」、「健康に留意した食生活」等の健康等を意識した食生活を実践したいと回答した人は多い一方で、「地場産物を購入したい」、「食文化を伝承していきたい」と回答した人は少ない状況にある（図44）。食育への関心理由についても、「食生活の乱れ」や「生活習慣病」への問題意識と比較すると、「食にまつわる地域の文化や伝統を守る」ことが重要だから」と回答した人は少ない（図45）。

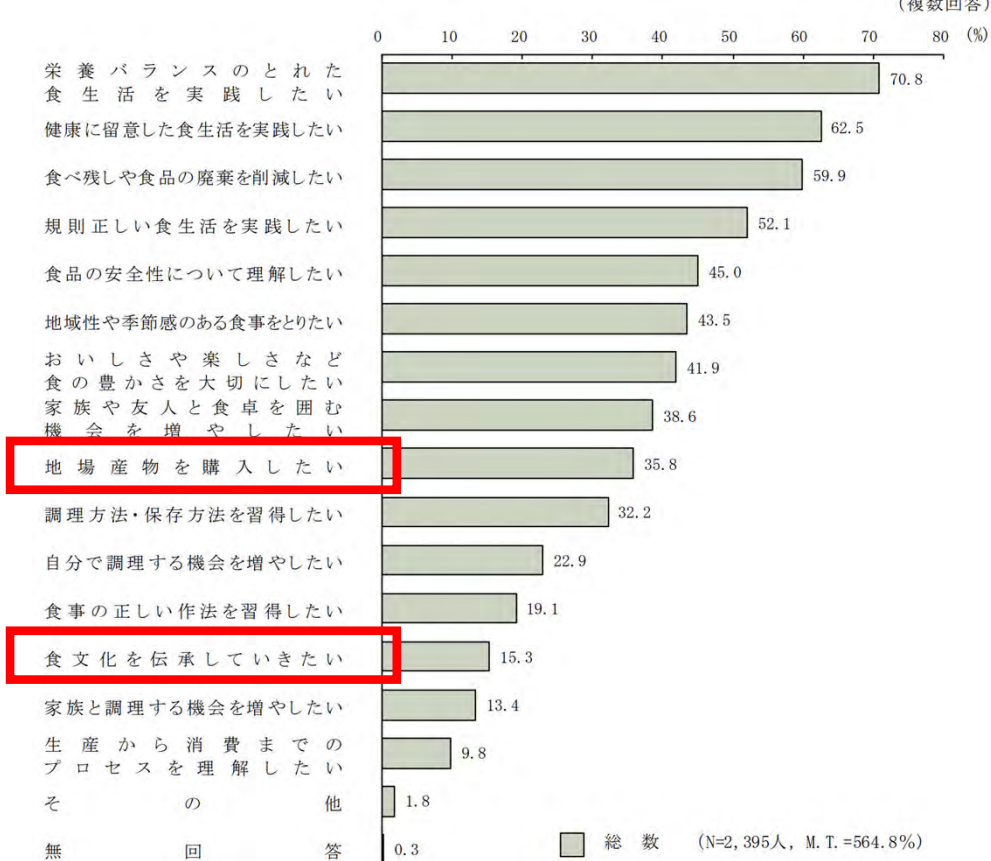
受け継いでいる食文化の内容については、「いただきます」や「ごちそうさまでした」など、料理を作ってくれた人や自然の恵みへの感謝の気持ちの表現」を挙げた人の割合が86.2%と最も高く、次いで、「お椀を手を持つ」、「迷い箸をしない」、「音をたてない」など、日常の食事の際のマナー」（85.2%）の順となっている（図46）。

図43 食文化を受け継ぐために必要なこと（複数回答）



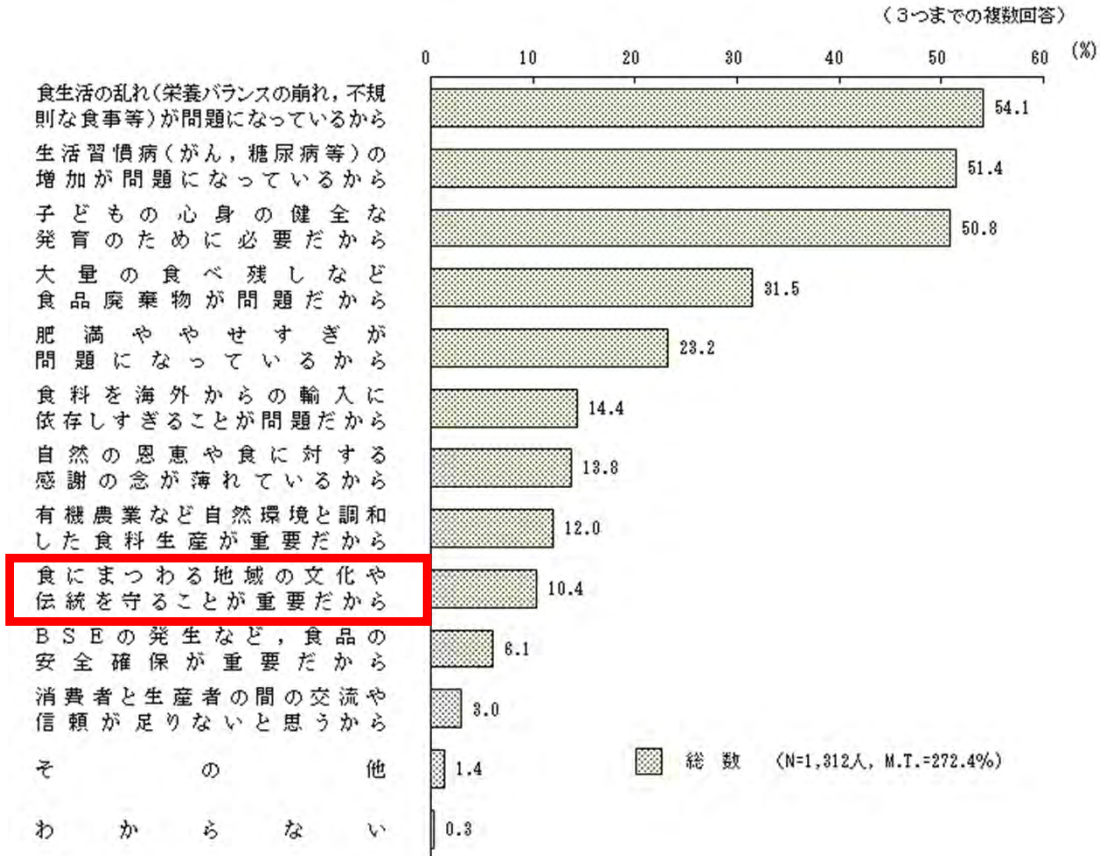
資料：農林水産省「食育に関する意識調査」（令和3年3月）

図44 今後1年間食育として実践したいこと（複数回答）



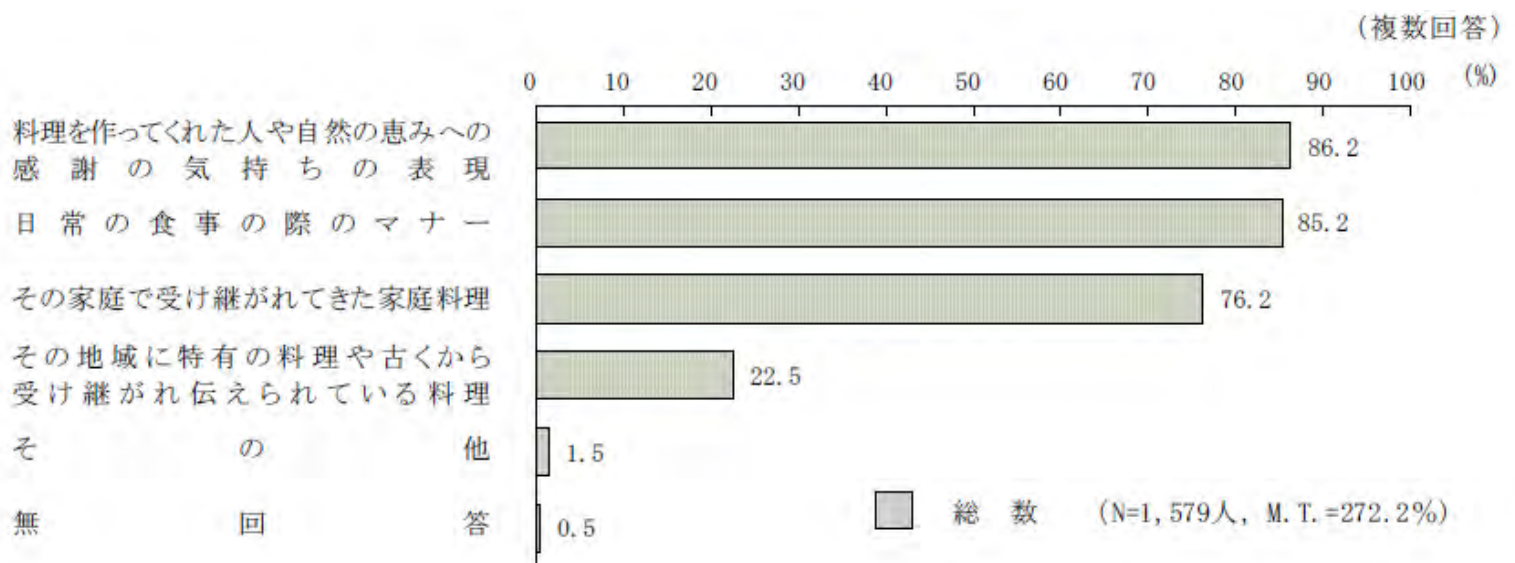
資料：農林水産省「食育に関する意識調査」（令和3年3月）

図45 食育への関心理由



出典：農林水産省「食育に関する意識調査」(令和2年3月)

図46 受け継いでいる食文化の内容



出典：農林水産省「食育に関する意識調査」(令和3年3月)